

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和3年5月12日（水）午後3時から

会 場：アオーレ長岡西棟4階 第二委員会室

【会見項目：令和3年度長岡まつり大花火大会について】

（市長）

今年こそは長岡まつり大花火大会を開催したいという強い思いで、長岡花火財団とともに、安全な開催方法について検討を重ねて参りました。

しかし、全国的に新型コロナウイルスワクチンの接種が当初予定していたよりも遅れることが確実となっています。そして、変異株の拡大に加えて、長岡市に県の特別警報が検討されるなど、感染拡大に直面しています。

このような状況下では、どのような工夫をしても、花火大会を安全に開催することはできないと判断しました。

従いまして、今年の長岡まつり大花火大会は、中止といたします。

なお、慰霊と平和の花火はもとより、少しでも市民の皆様楽しんでいただけるような花火の打ち上げが可能であるかどうかを、今後の感染状況を見極めながら、長岡花火財団とともに考えて参ります。

市民の皆様、全国の長岡花火ファンの皆様、花火大会を支えていただいているスポンサーの皆様、花火師の皆様、会場設営業者の皆様など、関係者の皆様には、誠に申し訳なく残念に思いますが、以上の決断についてご理解いただきますよう、よろしくお願いたします。

（長岡花火財団理事長）

長岡花火財団としても長岡まつり大花火大会の中止は、やむを得ないと考えています。

2年連続の中止は避けたいという思いで、国のガイドラインなどを参考にしながら、安全に開催できる方法を模索してきました。具体的には、花火会場への入場者数を限定したうえで、入場者の情報をすべて把握するという方法を考えていました。この方法は、全国的に感染が落ち着いており、仮に会場外に県外の方が来られても、ある程度の安全性が確保されるという想定を前提としたものでした。しかし、首都圏などへ緊急事態宣言が発令されている状況にあり、県外から来られる方々の安全性が十分に確保できないため、開催は難しい状況となりました。そのほかに、開催日の分散、会場の分散、秋への延期なども検討しましたが、それぞれの

方法にも、一定のリスクがあることと、長岡市内での感染拡大という状況もあり、中止はやむを得ないと判断しました。

また、この時期に開催可否の判断をしたことについては、チケット販売や会場設営の準備等の本格着手をぎりぎりまで待つことができる時期であり、これ以上、判断を遅らせることは、中止となった場合の経営上の負担が著しく大きくなるためです。

昨年は慰霊・復興・平和と、新型コロナウイルス終息を祈る花火の4発を打ち上げました。今年もそういった花火がどのような形でできるか、今後、市やスポンサーの皆様と相談して、後日、発表させていただきたいと思います。

(記者)

中止に至った経緯と最終判断をした人を教えてください。

(市長)

当初は8月の花火大会開催までに、市民全員にワクチン接種ができるという前提で、花火大会の準備を進めてきましたが、ワクチンの供給が間に合わず、高齢者向けの接種が7月に完了するかどうかという状況となりました。また、特に4月以降、市内でも急激に感染が拡大し、変異株の影響が強まっているという指摘が医療関係者からもありました。このため、花火大会の開催時期に感染が落ち着く状況にはならないと考えました。

そして、長岡花火財団理事会での議論や、市議会議員、商工会議所、経済界、市民の皆様など、さまざまな方の意見を聞きながら、最終的に私が判断しました。

(長岡花火財団理事長)

3月時点では人数を絞り、チケットを市民優先に販売し、残りのチケットの販売方法を全国向けにするか、県民に限るのかという選択肢を残していました。

4月に入り首都圏などの感染拡大が沈静化しない見通しとなり、大型連休前には、県民あるいは市民に限る方法を考えていました。

その後、県内、長岡市内において感染拡大が見られたことから、開催は難しいという考えに至りました。

なお、秋への延期についても、長岡花火財団の理事会や長岡まつり統括本部会議でも提案がありましたが、秋は降雨のリスクのほか、冬期前の公共事業等が増える時期にあたり警備や設営業者の事業機会を奪う可能性があるということ、その上で中止となった場合の影響はさらに大きいということなど、多くの課題があり早期に断念しました。

(記者)

中止を決断されたときの心境をお聞かせください。

(市長)

今年の初め頃は、必ずやりたいという思いでいましたが、感染の収束が見通せない状況となつてしまい、開催できるという思いが小さくなり、今日に至りました。

(長岡花火財団理事長)

感染が広がる中で、財団に寄せられる声も、当初はぜひ打ち上げて欲しいというものがほとんどでしたが、徐々に不安の声、疑問の声が多く寄せられるようになり、私どもも実施が難しいとの考えに変わりました。

財団理事会では、ここはきっぱりと判断をして、むしろワクチン接種や感染拡大防止に全力を挙げるべきタイミングだという意見があり、市長にも財団の声をお伝えしました。

(記者)

代替の花火について、昨年と同じ程度の規模で打ち上げる可能性はありますか。

(市長)

これから、花火財団と一緒に考えさせてもらいたいと思っていますが、私の思いとしては、昨年と同じということではなく、スターマインを数台増やすなど、少しでも楽しみを付け加えていけたら、市民の皆様にも喜んでもらえるのではないかと考えています。

(記者)

2年連続の中止は、経済への影響も大きいと思いますが、ある程度の規模で代替の花火を打ち上げる機会をつくるなど、考えているものはありますか。

(長岡花火財団理事長)

花火事業者の皆様からは、長岡まつり大花火大会で、本当に多くの花火を打ち上げていただいていますので、2年連続の中止は、経営に対する影響は決して小さくないと考えています。昨年も花火玉の保管代などとして一定額の支援をしています。今年度もよく花火事業者の皆様状況を聞いて支援を考えたいと思っています。

また、代替の花火を打ち上げることでの支援については、その花火が上げられる状況になるかどうか踏まえながら、今後、雪しか祭りやウインターファンタジーなどとともに検討していきたいと思っています。

(記者)

長岡まつり大花火大会中止に伴い、地域の花火大会も中止を要請する考えはありますか。

(市長)

市から一律で中止を要請する考えはありません。ただし、小規模の花火大会でも、感染拡大の不安があれば、それぞれの実行委員会や市が判断していくべきだと思います。

(記者)

来年への意気込みや希望をお聞かせください。

(市長)

変異株の影響やワクチン接種などにより、新型コロナウイルスの終息は見通しづらい状況で、来年のことを言うのは難しいところですが、もちろん来年は今までの2年分も含めて思いきり大きな花火を打ち上げたいと思っています。

【その他の項目】

(記者)

飲食店等への営業時間短縮要請について、いつ市長から県に要請したのでしょうか。

(市長)

新潟市に時短要請が出た頃に県知事が招集して開催されたウェブ会議で、今後、長岡市など別の地域でも感染が広がる場合は、時短要請を考えてほしいと申し上げてきました。

そして、昨日、市独自の緊急警戒情報を発出後に、県知事と電話で話し合い要請しました。県知事とはスムーズに、意思疎通できたと思います。

(記者)

市独自の緊急警戒情報を発出した根拠として、地元の集会など、お店を使わない場合での感染も挙げられていましたが、あえて飲食店への時短要請を求めた理由をお聞かせください。

(市長)

地域の居酒屋に、地元の方が集まって、クラスターが発生した事例がありました。会社関係や地域の寄り合いを起因とした感染もありました。それぞれに飲食が絡んでいました。飲食がすべてではありませんが、特にお酒を含む飲食が一つの大きな要素と見ており、時短要請をお願いしました。

飲食の場や会社関係から持ち込まれたウイルスが、家庭内感染を起こしています。家庭内でも、体調が悪い人との一緒に食事は避けるなど、感染対策の意識を高めていただきたいと思います。

(記者)

緊急警戒情報や飲食店への要請は、5月末までという見通しの中で、6月に入り長岡市内でも聖火リレーを実施できると考えていますか。

(市長)

感染の推移を見守りたいと思いますが、新潟市の事例から、飲食店への時短要請は効果が期待できると考えています。なお、聖火リレーは実施主体が県ですので、長岡市としては県の考えを確認している状況です。

(記者)

時短要請の解除の目途はどのように考えていますか。

(市長)

長岡市は本日時点で、10万人当たりの感染者数が25人を超えており、ステージ4の状況です。これがステージ1に近づく必要があると思っており、これらの指標の推移や、医療関係者の意見を取り入れながら、県に意見を申し上げていきたいと考えています。

(記者)

飲食店への時短要請や長岡まつり大花火大会中止など、経済への影響は大きいと思います。それに対する支援措置についてのお考えをお聞かせください。

(市長)

飲食店への時短要請については協力金がありますので、それを活用いただきたいと思えます。

また、花火大会中止による影響は広範囲に及ぶと考えていますので、さまざまな形での需要喚起を検討していきたいと思っています。

(記者)

飲食店の中にはしっかり感染対策をしていて、できるだけ営業をしたいというお店もあります。それについてはどのように考えていますか。

(市長)

しっかりと対策している飲食店もあれば、徹底しきれていないお店もあると思います。感染はそうしたところから出る可能性が高いため、飲食店を巡回しながら、感染対策が徹底されているか確認させていただきたいと思っています。

また、市ではPCR検査費用の補助制度をスタートさせたところです。感染が心配な人はぜひ活用していただきたいと思えます。そのほかにも、県が長岡市に簡易型のPCR検査センターを設置するという動きもあります。特に飲食業関係の人は無料で検査ができる予定ですので、より安全な営業環境づくりに活用いただきたいと思えます。